



## 令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

<p><b>自己評価の理由</b> ※公益性の増進、団体の発展性、実効性、補助金を除く資金調達の達成度などについて、具体的に記入。</p>	<p>多岐にわたって、色々な切り口（収穫体験、栽培体験、朝取れ野菜販売）で、市民に農体験を提供することができた。</p> <p>栽培においても、有機栽培に本格的に挑戦し、一定の質の高い収穫を得た。しかし、収益面に関して十分な結果が出せず、自己資金調達の達成には至らなかった。</p>
<p><b>今後の課題・抱負</b></p>	<p>新年度から、収益拡大を図りながら運営基盤を強化する。そのために作付を増やし、品質を上げながら、収量の増加、販売量の拡大を図る。その上で、さらに、市民の農に触れる機会を増やしていく。具体的には、新たな取り組みとして、定期的に市民向け農作業体験機会を設ける。援農ボランティア育成プログラムを開発する。また、スタッフのスキルアップ機会を設ける。以上の他、市内の団体向け栽培指導付共同栽培をさらに受け入れる。以上の活動を市内の農家とも連携、協力して行う。以上の活動を通じて、当 NPO が、地域に農的環境が将来にわたりあり続けることを共に望む都市住民と都市農家の間をつなぐ役割を果たす。</p>

### 活動状況について



令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート